

科目名	ヨーロッパの文化				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	1 年次
教員名	長谷川 晶子			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

多様性をはらみながら1つのまとまりを形成しているヨーロッパを学んでいくための導入として、ヨーロッパ言語学科の学生として知っておくべき文化の基礎知識を身に付けることを目的とする。

まず、ヨーロッパ文化の共通基盤をなしているギリシア・ローマの古典古代の神話と思想、そしてユダヤ教・キリスト教の歴史と文化について学ぶ。その後、中世からルネサンスを経て近代に至るまでのヨーロッパの歴史を概観しながら、民主主義と高度な科学技術を基礎とする現代社会を形成する主たる契機となった、ヨーロッパにおける科学革命、産業革命、市民革命、世俗革命などの諸革命が持つ意味を理解し、この理解を通してヨーロッパ文化の基本的特質を学んでいく。

並行して、古代ギリシアから20世紀までのヨーロッパの代表的な芸術作品を分析して、モチーフの変遷や流派の違いなどを明らかにしながら、建築・絵画を中心としたヨーロッパの芸術の基礎知識を身に付ける。具体的には、古代ギリシアの建築にはじまり、中世のキリスト教美術、ルネサンス、バロック、古典主義、そして印象派などを経て、前衛芸術にいたるまでの流れをとりあげる。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：グループワーク）

時々グループに分かれて、授業内容に関して話あってもらい、発表をしてもらうことがあります。

授業中には発言を求めます。

・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）

小テストはPCかタブレット、スマートフォンで受けてもらいます（小テストの実施後に解説します）。

授業の終わりには授業のまとめをmoodleに提出してもらいます。

授業内容・授業計画／Course description・plan

ヨーロッパ言語学科の学生として知っておくべき文化の基礎知識を身に付けることを目的とするこの授業では、以下のような流れで授業を展開していく。基本的にはグループワークによって進める。時にはDVDで映像をみながら文化に関する理解を深めていく。

第1回 オリエンテーション

第2回 古代ギリシアの思想・世界観と古代ギリシアの芸術

第3回 キリスト教の思想・世界観

第4回 キリスト教の芸術（1）ビザンチンからロマネスクへ 【「教員-学生間の対話シート」を実施】

第5回 ルネサンスの思想・世界観

第6回 ルネサンスの芸術

第7回 キリスト教の芸術（2）宗教改革とバロック

第8回 王侯貴族の世界観と合理主義

第9回 王侯貴族の芸術

★ オンデマンド授業 市民革命と社会契約論

moodleから資料をダウンロードして動画を見ながら勉強して、第13回目の授業終了時までに課題を提出のこと。

第10回 市民の美術

第11回 産業時代の思想・世界観

第12回 産業時代の芸術（1）絵画

第13回 産業時代の芸術（2）写真と映画

第14回 全体のまとめの試験と解説 【「学習成果実感調査」を実施】

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 オリエンテーション

【事前学習】シラバスをきちんと読み、授業の内容を把握する。

【事後学習】オリエンテーションで話された内容を自分でノートに整理する。

第2回 古代ギリシアの思想・世界観と古代ギリシアの芸術

【事前学習】教科書の該当ページ（古代ギリシアの部分）を読み、内容を把握してくる。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第3回 キリスト教の思想・世界観 【「教員-学生間の対話シート」を実施】

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握する。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第4回 キリスト教の芸術（1）ビザンチンからロマネスクへ

〔事前学習〕教科書の該当ページ（ビザンチン美術、ロマネスクの部分）を読み、前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第5回 ルネサンスの思想・世界観

〔事前学習〕教科書の該当ページ（ルネサンスの部分）を読み、理解してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第6回 ルネサンスの芸術

〔事前学習〕教科書の該当ページ（イタリアのルネサンスの部分）を読み、理解してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第7回 キリスト教の芸術（2）宗教改革とバロック

〔事前学習〕教科書の該当ページ（宗教改革とバロックの部分）を読み、内容を把握する。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第8回 王侯貴族の世界観と合理主義

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第9回 王侯貴族の芸術

〔事前学習〕教科書の該当ページ（ロココの部分）を読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

★オンデマンド授業 市民革命と社会契約論

〔事前学習〕教科書の該当ページ（ロマン主義の部分）を読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕オンデマンド教材で話された内容を自分でノートに整理する。

※オンデマンド資料はmoodleを介して配布します。

※オンデマンド資料は付属の課題とあわせて90分授業相当の内容になっています。

第10回 市民の美術

〔事前学習〕教科書の該当ページ（印象主義の部分）を読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第11回 産業時代の思想・世界観

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第12回 産業時代の芸術（1）絵画

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第13回 産業時代の芸術（2）写真と映画

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握してくる。前回の内容に関する小テストに備えて勉強する。

〔事後学習〕授業で話された内容を自分でノートに整理する。

第14回 全体のまとめの試験と解説 【「学習成果実感調査」を実施】

〔事前学習〕配布されたプリントを読み、内容を把握してくる。試験に備えてこれまでの復習を行う。

〔事後学習〕試験の内容を自分で復習し、どのように間違えたか自分で確認すること。

* この授業は講義科目ですから、事前事後学修は約180分を目安とし合計で2700分程度としています。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・ 古代ギリシアの哲学や芸術について、時間をかけて他者に説明できるようになる。
- ・ キリスト教の思想や芸術について、時間をかけて他者に説明できるようになる。
- ・ ルネサンスと宗教改革の思想と芸術について、時間をかけて他者に説明できるようになる。
- ・ 17世紀の経験論と合理論について、時間をかけて他者に説明できるようになる。
- ・ 社会契約論について時間をかけて、他者に説明できるようになる。

- ・ルネサンスから20世紀前半にいたるヨーロッパ美術の歴史について、時間をかけて他者に説明できるようになる。
- ・ヨーロッパの美術作品の基礎レベルの図像を読み解くことができるようになる。
- ・日本語で書かれた専門教養レベルの文章を読んで内容を他者に伝えることができるようになる。
- ・自分の意見や考えを明確な表現で論理的な文章にまとめることができるようになる。
- ・異なる文化や価値観を積極的に理解しようとする態度を持つようになる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- 専門知識・専門技能
- 【外国語学部 ヨーロッパ言語学科】
- ・世界情勢と学習言語圏の理解

履修上の注意／Special notes, cautions

積極的な参加を求めます。積極的に発言を行ってください。

受講態度が目にと余ると教員が判断した場合は減点の対象とします。

特に、授業中に指示がないのにスマートフォンをいじっている受講生には退室を命じることがあります。

第一回目と第二回目の授業で履修の条件について詳しく説明します。どちらも欠席した学生には履修を認めません。

評価方法／Evaluation

毎回の小テスト（30％）、授業の参加度・アンケート内容（40％）、最後のまとめ試験（30％）で総合的に評価します。

小テストは毎回実施後に解説をします。

教 材／Text and materials

教科書：山田五郎『西洋絵画史入門』（幻冬舎、2011年）

さらに、必要に応じてプリントを配布する。

質問や相談の方法／Instructor contact

質問は、授業開始前、授業後、およびメールにて受け付けます。

その他／Others

オフィスアワーは、POSTもしくは外国語学部事務室前の掲示で確認してください。